

神戸の減災研究会 WG4（防災教育WG）活動報告

WG4リーダー
神戸市立工業高等専門学校 鳥居宣之

WGメンバー

鳥居宣之（神戸市立工業高等専門学校）：WG長
久世益充（岐阜大学）
松井宏樹，勝村敏史（応用地質(株)）
片山辰雄（(株)カナン・ジオリサーチ）
荒木繁幸（大日本ダイヤコンサルタント(株)）
八谷誠（(協組)関西地盤環境研究センター）
末廣匡基（(株)阪神コンサルタンツ）
太田敏一（防災リテラシー研究所）

神戸市関連部局：防災課，危機管理室

2024.08現在

2
/32

WGの活動方針・活動状況

○活動方針

- ・研究WGという位置づけよりも，研究会の成果を市民に広報する活動（WEB配信，講演会の開催等）を主体に活動を行う
- ・神戸市の防災関連部局の広報活動への協力

○活動状況

- ・WG会議（4月，7月）
- ・アンケート調査（市民）（1月）
- ・アンケート調査（神戸市職員）（7月）

3
/32

WGの活動内容

○防災知識・教育用コンテンツ検討（久世委員）

- ・一般向けの防災知識・教育用コンテンツの検討

○神戸JIBANKUN（地盤情報DB）の活用方法検討（末廣委員）

- ・神戸JIBANKUNの普及方法（一般・神戸市職員向け）

○神戸市の防災関連部局の広報活動への協力（鳥居委員）

- ・「みち・みず・みどりの学校」出前授業内容

4
/32

防災知識・教育用コンテンツ検討G

○活動内容

市民を対象にアンケート調査を実施し、どのような防災知識・教育に関するコンテンツが求められているかを調べる

○アンケートの実施方法

Google Formsを利用（神戸市ネットモニター登録者にアンケート協力を依頼）

○実施時期

2024年1月14日～2月10日

○回答数

約1,500件

5/32

防災知識・教育用コンテンツ検討G

アンケート概要

神戸の減災研究会（<http://kobe-gensai.com/>）では、防災に関する情報提供を目的に、市民の関心へのアンケート調査を実施します。ご多忙の所恐れ入りますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

nohaisei19@gmail.com アカウントを切り替える

共有なし

次へ フォームをクリア

Google フォーム

Google フォームでこのアンケートを閲覧していただくには、右記のリンク先から、正しくログインする必要があります。

アンケート項目（45問）

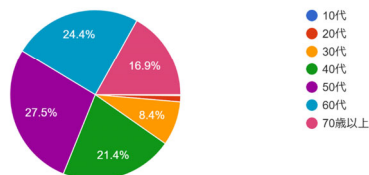
- ①回答者について
- ②神戸市とその周辺で被害のあった過去の災害について
- ③災害について
- ④災害への備えについて
- ⑤災害に関する知識について
- ⑥神戸の減災研究会について

6/32

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

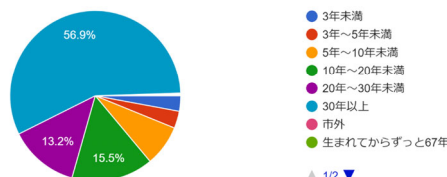
①回答者について

年齢を教えてください。
1,543 件の回答



約70%が40代以上

神戸市に住んで何年になりますか？
1,544 件の回答



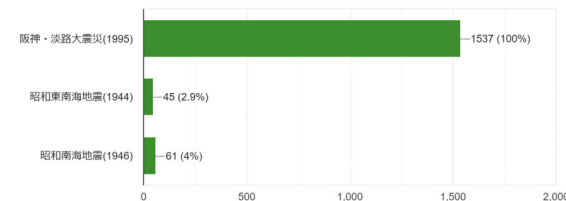
約85%が10年以上在住

▲ 1/2 ▼

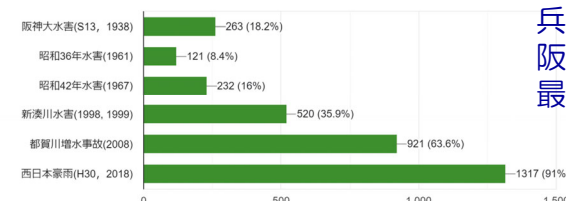
一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

②神戸市とその周辺で被害のあった過去の災害について

地震災害について、ご存じのものを回答してください(複数回答可)
1,537 件の回答



豪雨災害・豪雨に伴う土砂災害について、ご存じのものを回答してください(複数回答可)
1,447 件の回答



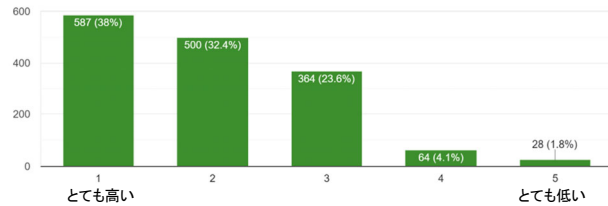
兵庫県南部地震は100%
阪神大水害は2割程度
最近の災害の認知度は高い

8/

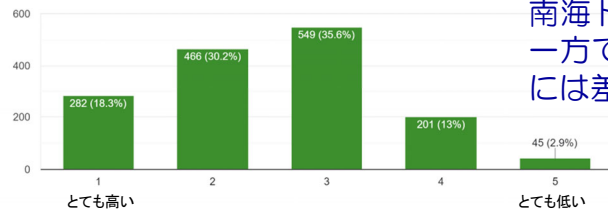
一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

③災害について

現在、南海トラフ地震が心配されています。一方、神戸市周辺では、六甲・淡路島断層帯、有馬・高槻断層帯、大阪湾断層帯など、複数の活断層が確認されています。今後30年の間に、神戸市で死者を伴うような、大きな地震災害に見舞われる可能性はどの程度であるとお考えでしょうか？



日本では毎年のように豪雨災害に見舞われています。今後30年の間に、神戸市で死者を伴うような、大きな水害に見舞われる可能性はどの程度であるとお考えでしょうか？



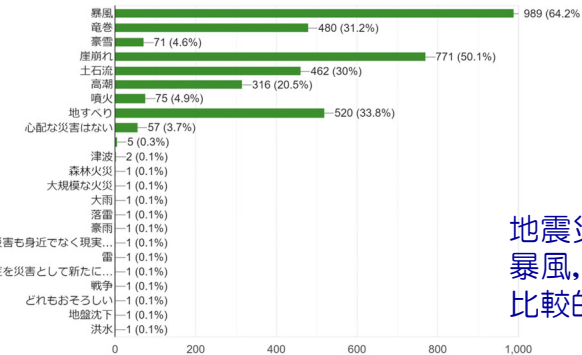
南海トラフへの関心が高い一方で、豪雨災害への関心には差が見られる

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

③災害について

災害対策基本法では、「暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害」を「災害」と定義しています。地震災害、水害以外で心配な災害があれば、3つまで挙げてください。

1,540 件の回答



地震災害・水害以外では、暴風、地盤災害への関心が比較的高い

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

④災害への備えについて

災害ハザード情報について、知っているものを全て教えてください。

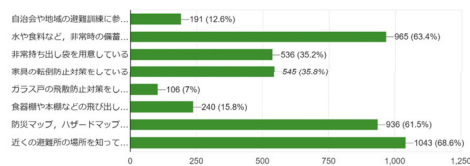
1,354 件の回答



ハザード情報や耐震補強施策に関する認知は5割程度

地震災害、水害などの災害について、日頃から備えていること、意識していることを全て教えてください。

1,521 件の回答



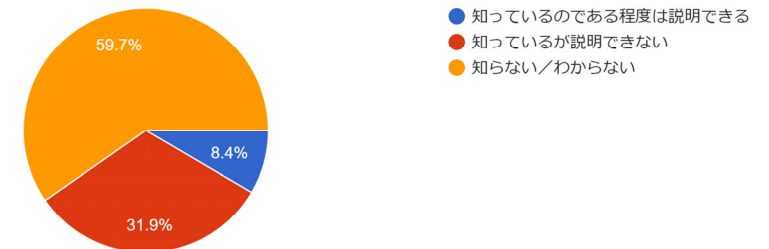
地域の避難訓練の参加が低い一方で、備蓄品の準備、ハザードマップや避難場所の把握などは6割程度

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

⑤災害に関する知識について（20問）

気象庁が発表する「氾濫危険水位」「避難判断水...について、どの程度知っているか教えてください。

1,530 件の回答

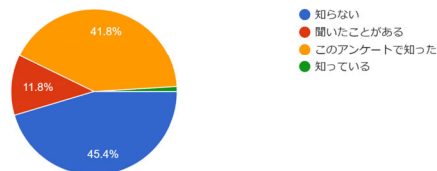


用語によるが、地震災害・豪雨災害関連用語を知っている回答者は半数程度

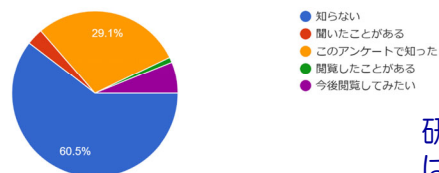
一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

⑥神戸の減災研究会について

本アンケートは、神戸市の自然災害の減災を目的...あります。本研究会についてご存じでしょうか？
1,542 件の回答



神戸地盤情報データベースシステム「神戸JIBANKUN」では、ボーリング調査資料をwebで公開している
(<https://www.strata.jp/KobeJibankun/>) ことはご存じでしょうか？



研究会もJIBANKUNもやはり市民の方には知られていない

13/32

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

○アンケートのまとめ

- 兵庫県南部地震の被災経験者は64%
- 南海トラフ地震への関心は高い(70%程度)、一方で、豪雨災害はやや低い(50%程度)
- 地震・水害以外の災害への関心は、暴風(64%)、崖崩れ(50%)・地すべり(34%)が高い
- 避難訓練の参加意識は低い一方で、備蓄、防災マップ、避難所把握への意識は高い

14/32

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

○アンケートのまとめ

- 行政の耐震診断・補強の補助については半数程度以下の認知度
- 災害用語に関して、震度や線状降水帯など、報道などで広く使用される用語の認知度は高い
- 一方、長周期震度階級や内水氾濫など、報道などで扱われることの少ない用語の認知度は低い
- 減災研究会の認知度は低い一方で、防災情報発信を期待するコメントは比較的多い

15/32

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

○今後の活動

神戸市内で発生しうる代表的な地盤災害についての防災知識・教育用コンテンツを作成し、減災研究会のWEBサイトで公開

- 山麓エリアでの地盤災害(土砂災害)：鳥居、荒木、片山
- 宅地造成地での地盤災害(盛土災害)：八谷、太田
- 沿岸エリアでの地盤災害(液状化)：久世、松井、勝村

上記の地盤災害に関する情報について、インターネット上の(公的な)情報発信サイトのURLを収集し、それらを活用しながら「知識に関する情報」と「地域のハザード情報」などを説明するコンテンツサイトを構築していく

16/32

一般の方に向けた防災知識・教育用コンテンツ検討

○今後の活動

神戸市WEBサイトでは、「防災」のトピックがまとめられており、「緊急・災害情報」、「日頃の防災」等の情報を集約している。その反面、情報が網羅的であるが故に、必要情報を取り出しやすい構成設定は課題であると感じている（危機管理室）

⇒神戸市WEBサイトと連携させるような形でまとめていくことで、
市民に防災・減災へ興味を引く構成を目指していく

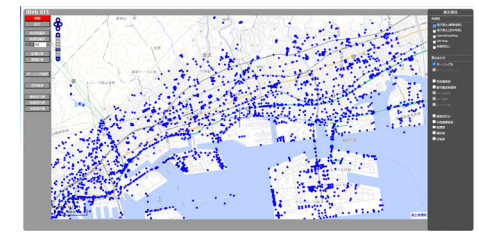
⇒神戸市WEBサイトに掲載されている防災・減災情報を、もう少し
踏み込ん（専門的な観点）で説明するような取組みも検討してい
く

17/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUN（地盤情報DB）

現在、WEB版で公開（一般用と会員用）



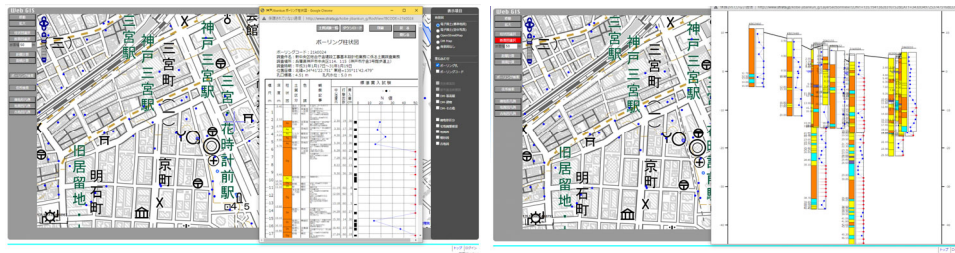
WEB版神戸JIBANKUNの機能

種別	データの内容
地盤データ	ボーリング柱状図、原位試験結果、土質試験結果、地下水位
地形データ	1/2500縮尺の現地形図 旧海岸線、旧河道、旧ため池、谷埋め盛土域 微地形区分図
構造物被害	建物被害データ
家位データ	宅地隣接の被害データ 噴砂分布図

18/32

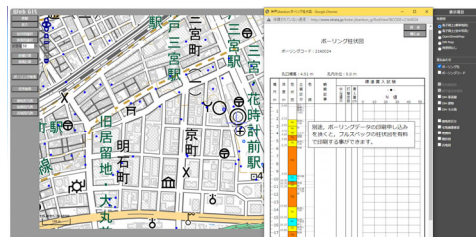
神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUN（地盤情報DB）



会員用（柱状図）

会員用（断面図）



一般用（柱状図）

19/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○活動内容

- 「神戸JIBANKUN」の一般ならびに神戸市職員の利用促進
「神戸JIBANKUN」を活用した地盤（情報）の見方の解説
 - ①柱状図の意味とその見方
 - ②断面図の意味とその見方
 - ③地盤の見方について
 - ④代表的な神戸の地盤 など
- 「神戸JIBANKUN」のシステム充実
地形地質情報などのデータ整備
 - ①地形情報（天井川、扇状地、断層地形など）
 - ②地質情報（五助橋断層、布引断層、住吉川ルートなど）
 - ③大輪田泊の遺構、湊川の河道変遷など
 - ④深層ボーリング情報など

20/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

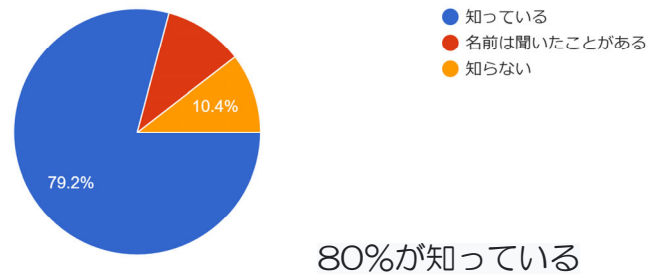
○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

- ・7/5に行われた職員技術研修所の技術講演会の場で依頼

回答数：48件（7/23現在）

Q1：地盤情報DB「神戸JIBANKUN」を知っていますか？

48件の回答



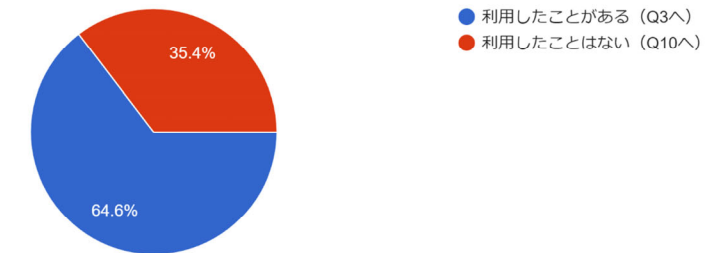
21/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q2：地盤情報DB「神戸JIBANKUN」を使用されたことがありますか？

48件の回答



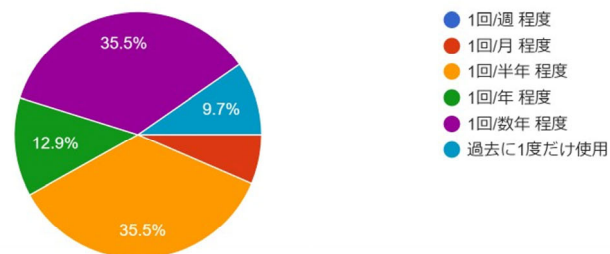
22/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q3：どの程度の頻度で利用されていますか？

31件の回答



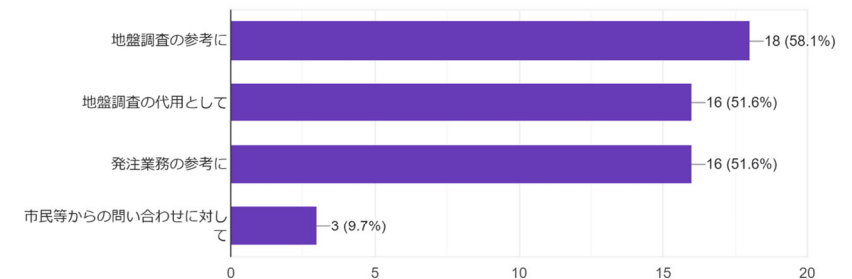
23/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q4：どのような業務で使用されましたか？（複数選択可）

31件の回答



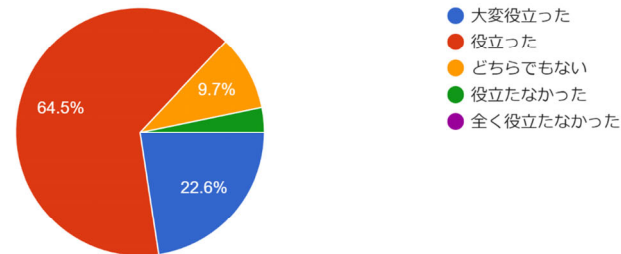
24/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q5：業務に役立ちましたか？

31 件の回答



地質分布や性情を素早く低価格で把握できる
説明の根拠・裏付けとなるため
近傍の地盤データが支持層深さ等の参考とできる
調べたい箇所の付近のデータがなかった

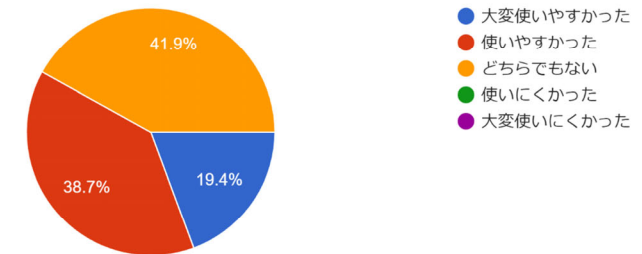
25/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q7：使いやすかったですか？

31 件の回答



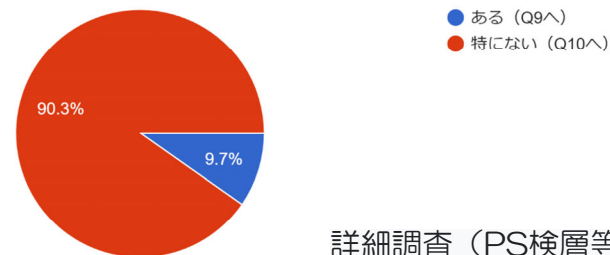
26/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q8：追加してほしい機能等がありますか？

31 件の回答



詳細調査（PS検層等の結果）
比較機能、解説機能
傾斜区分図
切土・盛土区分図（宅地造成等）
全域の地質図及び微地形区分図

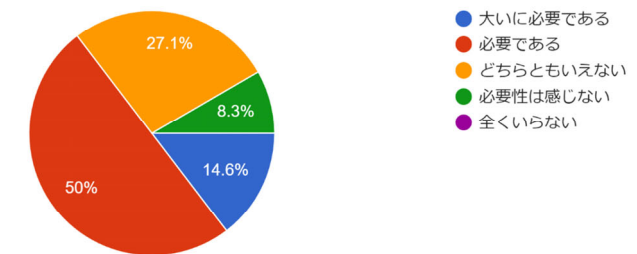
27/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○神戸JIBANKUNに関するアンケートの実施（技術系職員対象）

Q10：「神戸の減災研究会」では使用マニュアルの作成を検討しています。「神戸JIBANKUN」の利用に際し、そのようなマニュアルの必要性はありますでしょうか？

48 件の回答



75%がマニュアルを必要としている

28/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

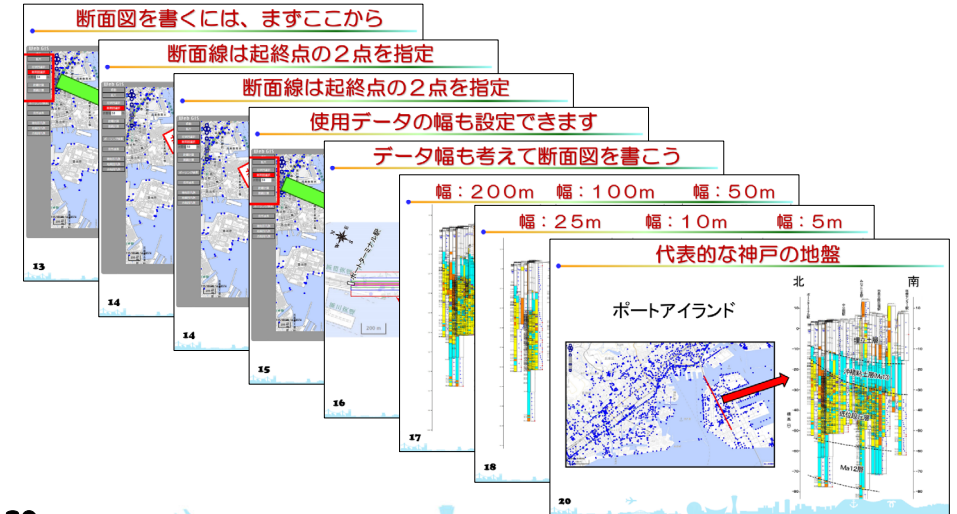
○取扱説明書「神戸JIBANKUNのトリセツ」の作成



29/32

神戸JIBANKUNの活用方法検討G

○取扱説明書「神戸JIBANKUNのトリセツ」の作成



30/32

「みち・みず・みどりの学校」出前授業内容の検討G

小学3～6年を対象に、出前授業（土砂災害関連）を実施



31/32

「みち・みず・みどりの学校」出前授業内容の検討G

○現状の課題

- ・授業をしていると理解できない部分も多く改善が必要
- ・神戸市職員による出前授業ではなく、学校の先生自らが説明できるようにしたい

○検討予定

- ・土砂災害に関する簡易な実験（斜面崩壊に及ぼす先行降雨の影響、がけ崩れのメカニズムと備えなど）の導入
- ・学校の先生が説明することができるよう、補足資料（スライドの解説）の作成



32/32

